

# 柘植地域 まちづくりだより 第166号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局  
(柘植地区市民センター内)

伊賀市柘植町一〇六四七番地

〒五一九一四〇二

電話 四五・八八八〇 FAX 四五・八八八三

発行日 二〇一六(平成)二十八年五月十五日(日)

## 好天に恵まれたつつじ祭

地域内外から1万6千人が来場

5月8日(日)、29回目となる「つつじ祭」が余野公園で盛大に開催されました。各区の模擬店運営はもとより、各区等から出ていただいた駐車場係をはじめとするスタッフのおかげもあって、準備か



ら片付けまでスムーズな運営ができました。

しかし、前号に掲載したように運営上の課題も多くあり、新たな時代における「つつじ祭」のあり方も検討していかなければならない状況に変わりはありません。まずは思いを出し合うところから始めませんか。



↑ 若杉会 & ふるさと音頭保存会

各区模擬店の様子 →



恒例！  
手裏剣コーナー





# 柘植駅発! つつじ祭ウォーク

「つつじ祭」には、草津線・関西線を利用してお越しいただく方も大勢いらっしゃいます。『まちづくりだより164号』で紹介したように、1か月前には、おもてなしの一環として、駅のホーム等の美化作業を「柘植駅を核とした公共交通のあり方検討委員会」のメンバーにて実施しました。

一方、当日は上記写真のように、柘植駅を集合場所とする恒例の「つつじ祭ウォーク」(主催JR関西本線電化を進める会・伊賀市商工会)が開催され、



スタッフを含めて約100名が参加しました。時間帯によってはJRの車両が満員となり、下車したお客さんで改札付近が大混雑する状況でした。そのためJR西日本亀山鉄道部の職員が昨年度より臨時の乗客対応をしていただいています。またウォーク参加者の安全確保のために伊賀市交通政策課のメンバーも協力していただきました。



コースは、柘植駅→都美恵神社→徳永寺→横光利一文学碑→歴史民俗資料館→風の森社跡→余野公園(約4km)で、倉部区在住の中川甫さんがガイドを務めていただきました。

参加者は遠方から当地へお越しの方がほとんどで、柘植駅の利用促進と柘植地域の観光資源のPRに、効果的な行事となっています。

参加者を前に、マイクを持って説明をする中川甫さん(風の森跡にて)

## 「旧柘植保育園」跡地利活用 検討委員会について

まちづくり協議会では、今年3月末に閉園となった旧・柘植保育園の跡地利活用について、伊賀市行政との話し合いを進め、将来の柘植地域を充実発展させていくことを目的に標記の委員会を設けます。

住民のみなさんからいただいたアンケート(結果は165号参照)なども重要な検討材料としつつ、有識者へのヒヤリングなどを通じ、年内を目標に方向性を出す予定です。

検討委員の構成については、運営委員会での検討の結果、協議会役員と区長代表を核にして、区長部会推薦の公募一般住民2名を加え10名体制で議論を進めていく予定です。

なお、検討委員会は他の会議同様、ごなたにも「公開」しています。また委員会への意見提出は常時受け付けていますので、皆様のご理解ご協力をお願いします。第1回会議は5月26日午前9時半を予定しています。

## ◎事務局だより◎

▼連休中は、それなりのお天気だったので、この機会に田植えや野菜苗を植えたりされた方も多かったことと思います。▼そして連休のラストを飾るごとく、8日には「第29回つつじ祭」が盛大に開催され、区民同士の絆も深まるとともに、柘植地域住民の横のつながりも太くなつたのではないのでしょうか? ▼柘植地域が抱える様々な課題を解決する力ギは地域を挙げての取り組みを実行中にあるのかも? (西田方計)